

生徒指導通信

～時を守り 場を清め 礼を尽くす～

No.2 作成者：山本
2026年 6月8日

先日の全校集会を終えて

6月の全校集会では、「4月、5月を振り返り、新たな挑戦ができる6月しよう」というお話をしました。何かを挑戦する際は、まずは振り返ることが大切です。学校生活、勉強、部活、委員会、人間関係のことをぜひ、振り返ってみてください。

山本からは、①服装 ②時間 ③相手意識をもった行動と発言 について、全体で振り返らせてもらいました。これらは、4月から言っていること、そして生きていくために必要な考えであるため、時間をかけて伝えさせてもらいました。

そして次にお話をした内容が「挑戦」です。振り返って終わりではなく、それを次は「挑戦」に繋げてほしいと思います。4月、5月の学校生活を振り返り、おそらく最低限1つは「やりきれなかった」「これはだめだった」と感じる部分があるはずです。それを「できた、できそう」につながる「挑戦」を1つでもいいのでしてほしいと思います。その先に「成長」があります。

「挑戦の先には、成功か学びしかない！」

「53」 この数字は何を意味していると思いますか？

「53」という数字を聞いて、何か、思い浮かぶものはありますか？ヒントは、駅家中学校の平日5日間での〇〇です。

答え・・・駅家中学校のある平日5日間で、駐輪場に入られていない自転車の合計台数です。ちなみに、駅家中学校の駐輪場は、現状、すべて入るスペースは確保されています。

山本は朝学活の時間は毎日、駐輪場へ行き、駐輪場に入れられていない自転車を入れています。しかし、雨雲の時や雨が降っているときは、きれいに全ての自転車が駐輪場に入りきっています。

その違いは何ですか？「雨が降りそう。降っている。雨でサドルを濡らしたくない」からですか？

なぜこんなお話をしているかというと、「適当人間」になってほしくないなと思っているからです。最近、よく耳にする言葉があります。それは、「人に迷惑をかけていないし、いいじゃん」です。当然、人に迷惑をかけることはよくありません。しかし、人に迷惑をかけなければ、なんでもOKになりますか？

自転車の停め方において、もしかしたら現在、人に迷惑がかかっていないかもしれませんが、しかし、これが今後、続けば、おそらくたくさんの人が駐輪場からはみ出して自転車を置く可能性が出てきます。結果、迷惑がかかる生徒が増えます。ということは、「適当な考えや行動」は結果、人に迷惑をかけてしまう結果になります。よって、普段の発言や行動1つとっても、「適当な判断」ではなく、「ベストな判断」ができる人になりましょう。

実は... ある天気がいい日、すべての自転車が駐輪場に入りきっている日がありました。

